

中部国際空港第2ターミナルにおいて 「GMPS(磁気マーカシステム)^{※1}」による自動運転実証実験(レベル4相当)を実施 ～近い将来の社会実装を見据えた自動敷設機を開発～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、株式会社NTTドコモ東海支社、名鉄バス株式会社、トヨタ紡織株式会社、日本モビリティ株式会社と連携し、1月28日（木）から29日（金）まで、常滑市の中部国際空港第2ターミナルにおいて自動運転実証実験を実施します。

本実証実験は、近い将来における自動運転車両による乗客輸送の社会実装化を目指しており、空港における省人化を狙いとしています。

同空港を含む空港施設では、遮蔽物が多くGNSSおよびLiDARなどの電波や画像処理を用いた位置推定が困難な箇所があり、そのような箇所でも車両位置を正確に特定できる「磁気マーカシステム」は、安全・安心な自動走行に大いに貢献します。

【今回の実証実験のポイント】

下線部…初の試み

<当社>

- ①磁気マーカ（2m間隔、約800m）敷設にあたり、新規開発した自動敷設機を用いて貼り付け^{※2}
- ②空港の制限区域内における自動運転レベル4相当の運転（運転席無人の遠隔型自動運転）

<その他>

- ①商用5Gに接続した路側カメラにより、ルート上の模様を遠隔監視席のモニターへ放映（NTTドコモ）
- ②遠隔監視席に眠気抑制シートシステムを設置（トヨタ紡織）
- ③小型自動運転バスを使用（所有：群馬大学、ベース車両：日野ポンチョ）

なお、今回の実証実験について、1月29日（金）に報道公開を実施します。
取材をご希望の方は、1月22日（金）までに株式会社NTTドコモ東海支社 企画総務部広報室
（FAX：052-954-1508、MAIL：event_tokai-ml@nttdocomo.com）まで、別添の取材連絡票をお送り下さい。

【実証実験概要】

- 1. 期間： 2021年1月28日（木）、29日（金）の2日間
- 2. 走行ルート：中部国際空港第2ターミナル国内線到着側ゲート702番前からGSE制限区域を周回（約800m）

【報道公開概要】

- 1. 日時： 2021年1月29日（金）午前9：00頃から
- 2. 受付場所・時間：中部国際空港 第2ターミナル国内線到着ロビーに設置された受付に8：30までにお越しください。
- 3. 内容： 事業者幹部による出発セレモニー、報道機関希望者の試乗等

実証実験の内容は天候などの条件によって予告なく変更することがあります。

※1「磁気マーカシステム」： 車両底部に取付けたMIセンサユニットにより、走路に沿って敷設した磁気マーカの微弱な磁力から
自車位置を高精度に推定する当社が独自開発した自動運転支援システム



GMPS…Global Magnetic Positioning Systemの略

※2 本実証実験は愛知県による研究開発・実証実験を支援する「2020年度新あいち創造研究開発補助金」の助成を受けています。



小型自動運転バス
(国立大学法人群馬大学)



車載用M I センサモジュール(上)
磁気マーカ(下)
(表面設置型、直径 100mm×厚さ 2mm)



新規開発した自動敷設機

